

第3回芸備線再構築協議会幹事会 議事次第

令和6年12月25日(水)
10:00～11:30
TKPガーデンシティ岡山

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

- (1) 芸備線再構築協議会幹事会規約の変更
- (2) 芸備線再構築に関する調査事業（調査事業A）
- (3) 令和7年度芸備線再構築協議会予算及び構成員負担金
- (4) その他

4. 閉会

配付資料一覧

第3回芸備線再構築協議会幹事会 出席者名簿

資料1 芸備線再構築協議会幹事会規約

資料2 芸備線再構築に関する調査事業（調査事業A）概要

資料3 令和7年度芸備線再構築協議会予算及び構成員負担金

資料4 西日本旅客鉄道株式会社説明資料

第3回 芸備線再構築協議会幹事会 出席者名簿 (敬称略・順不同)

所 属	役 職	氏 名	備 考
国土交通省中国運輸局	交通政策部長	さかば しんいち 阪場 進一	幹事長
	鉄道部長	うつば しょう た 靱 尚太	幹事長
岡山県	県民生活部長	たまき あす お 玉置 明日夫	
	土木部技術総括監	かわかみ じろう 川上 次郎	
広島県	地域政策局長	おかだ こうじ 岡田 浩二	
	土木整備担当部長	かや ひでひこ 栢 英彦	
新見市	福祉部長	ふるや たかゆき 古家 孝之	
	建設部建設課長	にしやま まさ み 西山 優深	(代理出席) 建設課 参事 おおた としゆき 太田 俊之
庄原市	生活福祉部長	おかもと みつぐ 岡本 貢	
	環境建設部 建設課長	すぎたに み わ き 杉谷 美和紀	
西日本旅客鉄道株式会社	岡山支社 副支社長	あさい まさやす 浅井 昌容	
	広島支社 副支社長	おくい あきひこ 奥井 明彦	
公益社団法人広島県バス協会	専務理事	あ か ぎ やすひで 赤木 康秀	
公益社団法人岡山県バス協会	専務理事	おかだ かずふみ 岡田 和史	
岡山県警察本部	交通規制課長	もりもと たかひろ 森本 隆弘	(代理出席) 交通規制課 課長補佐 ふ ろ はし さとし 風呂橋 諭
広島県警察本部	交通規制課長	かんの たかゆき 菅野 貴之	(代理出席) 交通規制課 課長補佐 はなだ けんじ 花田 憲治
独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校	教授	かんだ ゆうすけ 神田 佑亮	
国土交通省中国地方整備局	建政部長	た み や のぶひろ 田宮 庸裕	
三次市	地域共創部長	や の み ゆ き 矢野 美由紀	
安芸高田市	企画部長	こうげ まさはる 高下 正晴	
広島市	道路交通局長	と だ ゆうじ 戸田 祐二	(代理出席) 道路交通局 参与 やまだ てるあき 山田 晃彬
国土交通省鉄道局	鉄道事業課 企画調整官	しみず たいき 清水 大貴	

芸備線再構築協議会幹事会規約

（目的）

第 1 条 この規約は、芸備線再構築協議会規約（以下「協議会規約」という。）第 9 条第 2 項の規定に基づき、芸備線再構築協議会幹事会（以下「幹事会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（事務所）

第 2 条 幹事会は、事務所を広島県広島市中区上八丁堀 6 番 3 0 号広島合同庁舎 4 号館中国運輸局内に置く。

（協議事項）

第 3 条 幹事会は、協議会規約第 9 条第 1 項により議長の命を受けた事項を協議する。

2 前項の協議は、必要な調査事業及び実証事業（交通手段再構築実証事業計画に係るものを除く。）の実施内容及び費用負担に関して決定することを含むものとする。

（組織）

第 4 条 幹事会は別表に掲げる幹事をもって組織する。

2 幹事会は、協議会の構成員が変更された場合、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 1 9 年法律第 5 9 号）第 2 9 条の 3 第 5 項各号に掲げる者に準ずる者として幹事とすることが妥当である者がある場合その他幹事について変更する必要がある場合は、協議の上、別表を変更するものとする。

（幹事長）

第 5 条 幹事会に幹事長を置く。

2 幹事長は、中国運輸局交通政策部長及び鉄道部長をもって充てる。

3 幹事長は、幹事会における議事運営その他の会務を総括する。

4 幹事長に事故があるときは、議長が幹事長の職務を代理する者を中国運輸局の職員から指名する。

（幹事会）

第 6 条 幹事会は、幹事長が招集する。

2 幹事会は、幹事（次項の規定により代理の者が出席する場合は、当該代理の者。同項を除き、以下同じ。）の過半数が出席しなければ開くことができない。

- 3 幹事は、代理の者を協議会に出席させることができる。
- 4 幹事長は、必要があると認めるときは、幹事以外の者に対して、幹事会への出席、資料の提出、意見の表明その他必要な協力を求めることができる。
- 5 幹事会の公開又は非公開は、幹事と協議の上、幹事長が決定する。

（議事及び協議資料）

第7条 幹事会の議事については、速やかに議事の概要を作成し、中国運輸局ホームページで公開するものとする。

- 2 協議資料は原則として公開する。ただし、非公開とすることが適当であると認める場合は、その一部又は全部を非公開とすることができる。

（事務局）

第8条 幹事会の業務を処理するため、中国運輸局鉄道部内に事務局を置く。

（会計及び会計年度並びに財務に関する事項）

第9条 幹事会の会計及び会計年度並びに財務に関する事項については、協議会規約に準ずる。

（委任）

第10条 この規約に定めるもののほか、幹事会の事務の運営上必要な細則は、幹事長が別に定める。

附 則

この規約は、令和6年3月26日から施行する。

別表（第4条関係）

芸備線再構築協議会幹事会幹事名簿

（令和6年 月 日現在）

所属	役職	氏名	備考
国土交通省中国運輸局	交通政策部長	阪場 進一	幹事長
	鉄道部長	靱 尚太	幹事長
岡山県	県民生活部長	玉置 明日夫	
	土木部技術総括監	川上 次郎	
広島県	地域政策局長	岡田 浩二	
	土木整備担当部長	栢 英彦	
新見市	福祉部長	古家 孝之	
	建設課長	西山 優深	
庄原市	生活福祉部長	岡本 貢	
	環境建設部建設課長	杉谷 美和紀	
西日本旅客鉄道株式会社	岡山支社副支社長	浅井 昌容	
	広島支社副支社長	奥井 明彦	
公益社団法人広島県バス協会	専務理事	赤木 康秀	
公益社団法人岡山県バス協会	専務理事	岡田 和史	
岡山県警察本部	交通規制課長	森本 隆弘	
広島県警察本部	交通規制課長	菅野 貴之	
独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮	
国土交通省中国地方整備局	建政部長	田宮 庸裕	
広島市	道路交通局長	戸田 祐二	
安芸高田市	企画部長	高下 正晴	
三次市	地域共創部長	矢野 美由紀	

芸備線再構築に関する調査事業(調査事業A)概要

令和6年12月25日
国土交通省 中国運輸局



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

- 調査事業の全体像
- 各実施項目の進捗状況と今後の進め方

住民・観光客アンケートや関係者意見聴取等の新規調査も交えてデータを収集し、分析する

調査事業における実施項目

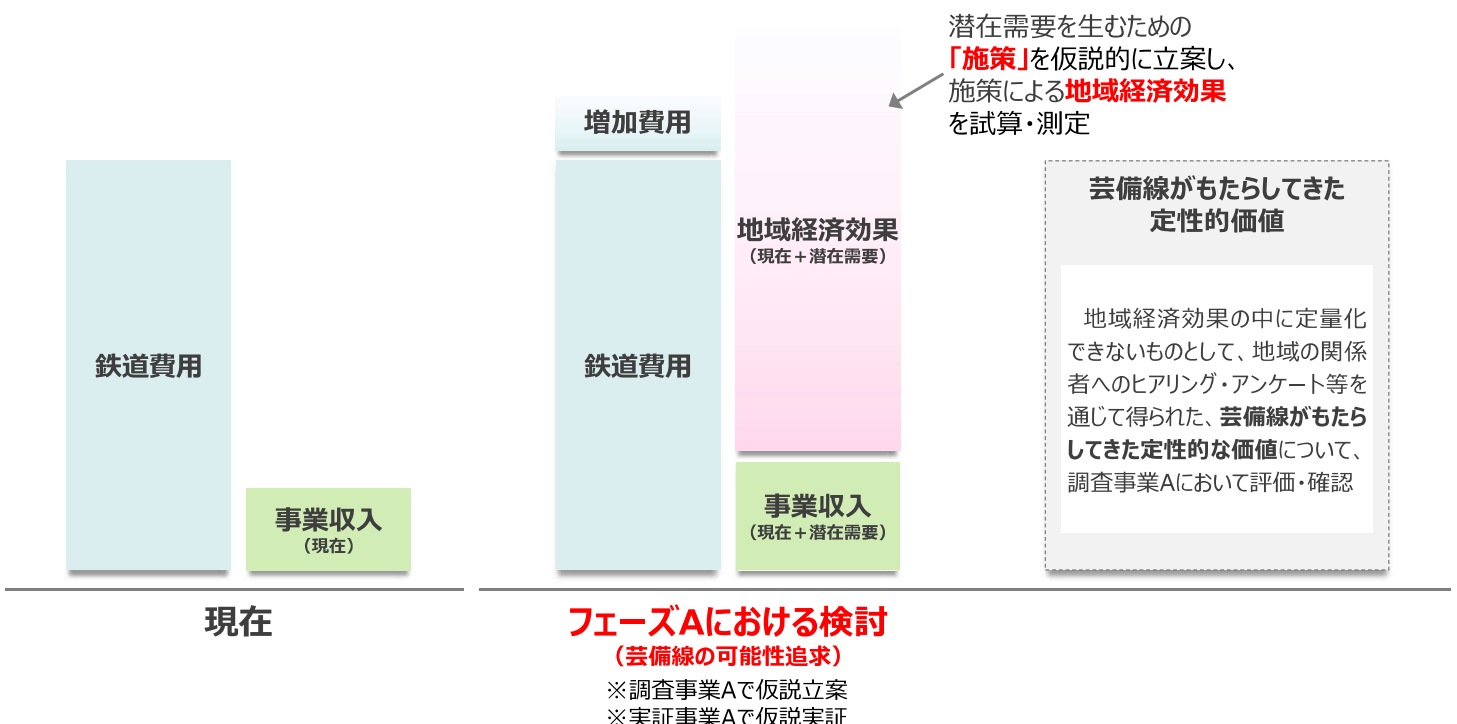
実施に際しての留意点

1-1 必要なデータの収集	● 「必要なデータ」と位置づけられているデータを網羅的に収集。 ● 一部のデータについては、統計等による収集・推計が困難であるため、「住民アンケート」と「来訪者アンケート」の2種類のアンケート調査を実施する。（#2に詳細を記載）	● 特定区間沿線は高齢者が多いことを踏まえ、住民アンケートはウェブではなく郵送方式を想定する。 ● 来訪者アンケートは観光客・ビジネス客の双方を対象としたウェブアンケートを行う。
1-2 収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析	● 芸備線沿線地域の現状を把握する。 ● 地域経済効果の試算（次頁参照）など、沿線地域で実施可能性のある芸備線の利便性向上のための施策における費用および効果等の分析を実施する。	● 統計等から算出が難しい項目については、#1-1のアンケート調査結果を活用することで、可能な限り定量的な算出を行う。 ● 利便性向上施策の検討・立案に当たっては、#2で関係者から挙がったアイデア・見解も踏まえ整理する
2 関係者からの意見聴取の実施	● #1-1における「沿線住民アンケート」で、住民の声を聴取する。 ● アンケートに加え、商工会議所・商工会・観光協会・交通事業者、その他地域振興団体に対するヒアリング調査を実施する。	● 地域の団体・事業者へのヒアリングは、対象者の属性や聴取項目を踏まえて、単独形式又はグループ形式で実施する。

2

地域経済効果イメージ（調査事業Aで試算・実証事業Aで測定）

- **調査事業A**において芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「**施策**」を仮説的に立案
収集データに基づいて妥当な結果が見込まれる「**施策**」による**地域経済効果**を試算
- **実証事業A**において「**施策**」を試行的に実施して**仮説を実証**



3

4. 芸備線再構築協議会幹事会における当面の検討イメージ

芸備線の利用者を増加させる取組や、利用者の利便性や地域への波及効果を高める取組による相乗効果に加え、利用者数とは別個の芸備線自体の価値を見出すことにより、芸備線の可能性を追求していく

(具体的な検討の内容) ※基本的考え方：芸備線の可能性を最大限追求

$$\text{①利用者数の増加} \times \left[\begin{array}{c} \text{②a 利用者本人の便益の増加} \\ + \\ \text{②b まちづくり・観光振興の観点も踏まえた地域への波及効果} \end{array} \right] + \alpha \text{ ③その他} \\ = \text{芸備線による地域への多様な価値の創出}$$

(各要素の検討イメージの例)

① 利用者数の増加

：移動需要の創出（利便性向上、新見・庄原地域を面で捉えた他の公共交通との連携、沿線住民の行動変容、利用者減少の要因分析 等）

② a 利用者本人の便益の増加

：利便性・快適性が向上するサービスの提供等による利用者本人の便益の増加

② b まちづくり・観光振興の観点も踏まえた地域への波及効果の増加

：域内観光消費・住民の買物消費の増加、地域への波及効果の創出

③ α その他

：利用者数とは別個の価値について検討 ※データとファクトに基づき議論できるものを基本とする

4

(参考)調査事業の実施 -調査事業等の外部委託- (第2回幹事会)

③現状把握とその結果を踏まえた総合的な分析に関する提案

ア 芸備線や沿線地域の現状・公共交通の現状の把握

「幹事会における当面の検討イメージ」に沿って、現状データの整理・分析により、(芸備線が沿線地域において現状果たしている価値の把握も含め、) 芸備線と沿線地域等の現状を把握

イ 将来人口予測など新見市・庄原市の将来の地域の姿

人口推計やその他データの分析により新見市・庄原市の将来の地域の姿を把握

ウ 当面の検討イメージに沿って行う、**芸備線による多様な価値の創出**やポテンシャルの有無に関する分析（潜在需要などの伸びしろの有無の把握も含む）

「幹事会における当面の検討イメージ」における各要素（①、②a、②b、③）に沿って、例えば、以下の検討内容を分析し、芸備線による多様な価値の創出・ポテンシャルの有無を分析

<検討内容のイメージの例>

◎は、重点項目（提案必須）

- ・居住生活ニーズによる利用者数への影響分析…当面の検討イメージ①②b
- ・産業観光、ビジネス需要、MICE需要等による利用者数への影響分析…①②b
- ◎潜在需要の顕在化やトリップ数の増加に向けた分析…①②b
- ◎二次交通との連携強化等による需要増の分析…②a
- ・収入増加可能性の分析（客単価や沿線地域での域内消費額アップ等）…②a②b
- ◎駅など交通拠点の有効活用による需要創出効果分析…①②a②b③
- ◎芸備線が鉄道として存在することの価値に関する分析…③
- ・関係者等の意見を踏まえた定性的な価値に関する分析…③

■ 調査事業の全体像

■ 各実施項目の進捗状況と今後の進め方

1. 必要なデータの収集
2. 関係者からの意見聴取の実施

各実施項目の進捗状況

各実施項目の進捗状況及び次回幹事会までの実施事項は以下のとおり

実施項目	実施内容	これまでの実施事項	第4回幹事会までの実施事項
1-1 必要なデータの収集	● 公開情報と構成員保有データの収集	- 公開情報に基づくデータは収集済み - 構成員保有データは、順次提供中（詳細後掲）	構成員保有データを含め全データの収集完了、体系的なデータ整理
1-2 収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析	● 芸備線の現状把握と芸備線の利便性向上施策の費用・効果等の分析	- 芸備線の多様な価値の定義についての構成員間での目線合わせ（継続議論中） - 芸備線の利便性向上のための施策整理	#1-1のデータ収集を踏まえた現状把握・総合的な分析の実施（途中経過を報告予定）
2 関係者からの意見聴取の実施	● 沿線住民・来訪者へのアンケート調査	#1-1を踏まえた、アンケートで聴取すべき項目の洗い出し・整理 - 上記を踏まえた詳細設問の設計 - 具体的な実施スケジュールの策定	沿線住民・来訪者アンケートの実施（1月下旬～2月上旬に回収予定）
	● 地域団体・事業者へのヒアリング調査	#1-1を踏まえ、ヒアリングで聴取すべき項目の洗い出し・整理 - 上記を踏まえたヒアリング項目の設定 - ヒアリング対象選定と日程調整	各対象へのヒアリング等の実施（#1-2と合わせ進捗状況を報告予定）

各実施項目の今後の進め方

- 1月中旬までに公開情報・構成員保有データに基づく芸備線沿線の現状把握を実施
- 1月下旬以降、アンケート・ヒアリング調査の結果を踏まえた総合的な分析を実施予定

	2024	2025	
	12月（下旬）	1月	2月（上旬～中旬）
協議会・幹事会	第3回幹事会（本日）	第4回幹事会予定	
1-1 必要なデータの収集	構成員間でのデータ授受・確認		データ収集完了（予定）
1-2 現状把握と総合的な分析	公開情報・構成員データに基づく現状把握		構成員追加提供データ、アンケート・ヒアリング結果に基づく総合的な分析
2 沿線住民・来訪者へのアンケート調査	詳細設問の確定	調査票等の事前準備	住民アンケート配布、来訪者アンケート実査開始
			来訪者アンケート回収
			住民アンケート回収
			集計・分析
2 地域団体・事業者へのヒアリング調査	対象との日程調整、事前連絡	ヒアリングの実施	ヒアリング結果集約 芸備線の利便性向上施策の具体化

8

■ 調査事業の全体像

■ 各実施項目の進捗状況と今後の進め方

1. 必要なデータの収集

- 公開情報と構成員保有データの収集

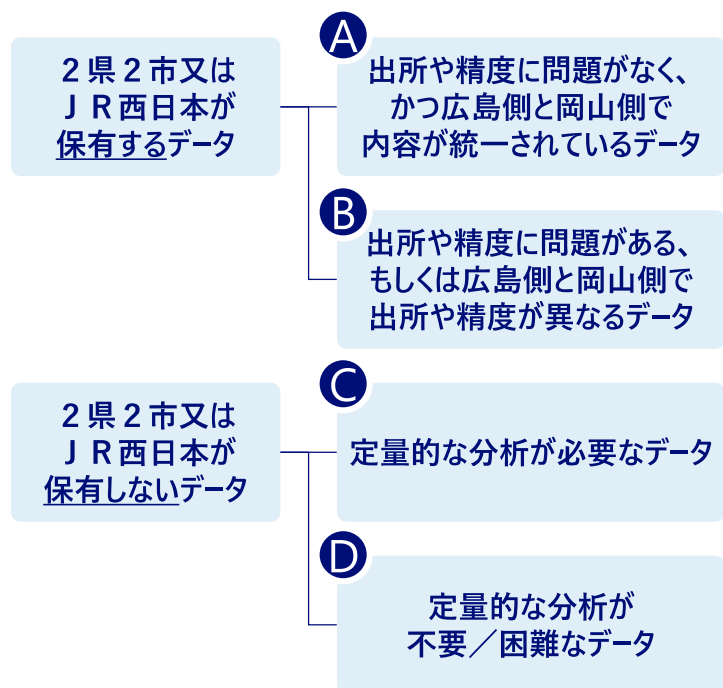
2. 関係者からの意見聴取の実施

9

1. 必要なデータの収集

芸備線の総合的な分析に際しては、公開情報・構成員保有データの収集に加えて、沿線住民・来訪者へのアンケート調査、地域団体・事業者等へのヒアリング調査を実施

必要なデータの分類



データ収集の考え方

- 既存資料（又は2 県 2 市 J R 西日本からのデータ提供）を活用する
- 特定区間外（全線）のデータ収集が容易な項目については、全線分のデータ収集を追加的に行う
- 既存統計等から精度の高いデータに統一可能な項目は、追加的なデータ収集を行う
- 精度の高いデータの追加的な収集が困難な項目は、「C」に準じてアンケート等により新規にデータを収集する
- 政府統計等からのデータ収集に加え、特定区間における「住民アンケート」、「来訪者アンケート」を追加的に実施する
- 住民アンケートは郵送方式、来訪者アンケートはWeb方式を予定
- 既存資料（各地域の将来計画等）に加え、地域の商工会議所・商工会・観光協会・交通事業者・その他地域振興団体等に対するヒアリング調査を実施し、定性的な分析を行う

10

■ 調査事業の全体像

■ 各実施項目の進捗状況と今後の進め方

1. 必要なデータの収集

● 公開情報と構成員保有データの収集

2. 関係者からの意見聴取の実施

11

データ項目別の収集方針・収集状況

データ項目別の収集方針・収集状況 アンケート・ヒアリング調査詳細については後掲

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
地域の現状	1	庄原市・新見市の人口推移	B	・国勢調査 (市町村別、年齢階級別人口)	全線	既存資料では出所が複数にわたっているため、出所を統一して再集計を行う	✓ 収集済み
	2	庄原市・新見市の将来推計人口	B	・国立社会保障・人口問題研究所推計 (市町村別、年齢階級別人口)	全線		✓ 収集済み
	3	庄原市・新見市のまちづくり計画	A	・庄原市・新見市の以下計画 長期総合計画、地域公共交通計画、都市計画、立地適正化計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略	特定区間内	項目別に両市の将来計画を分かりやすく整理する	✓ 収集済み
	4	庄原市・新見市の病院立地・企業立地状況	B	・庄原市 地域公共交通計画(P.8～12) ・新見市 地域公共交通計画(P.7～10) ・RESAS*「まちづくりマップ」	特定区間内	企業立地はRESASを活用し精度を向上させる	✓ 収集済み
	5	庄原市・新見市の通院・通勤手段	B	・岡山県パーソントリップ調査(新見市分) ・国勢調査(人口・就業状態等集計) ・ 特定区間住民へのアンケート調査	特定区間内	アンケート調査から2市で出所を統一してデータ収集を行う	✓ 収集・提供済み ✓ アンケートは1月実施予定
	6	芸備線沿線の人口分布	B	・J R 西日本第1回芸備線再構築協議会資料(P.7)における元データ ・RESAS「人口マップ」	特定区間内	RESASを活用し精度を向上させる	✓ 収集・提供済み
	7	芸備線沿線の道路整備状況	A	・広島県「広島県の道路2023」 ・岡山県「おかやまの道路2023」 ・国交省「高規格道路指定路線図」	全線	広域流動への影響を分析するため全線で収集する	✓ 収集済み

注) 収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。
RESASとは、内閣官房「地域経済分析システム」を指す。

12

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
地域の現状	8	芸備線沿線の学生数の将来推計	C	・国勢調査、住基台帳人口 (市町村別、年齢階級別人口) ・特定区間沿線の在学生数データ	特定区間内	在学生数は2県2市から提供	✓ 対応中
	9	駅周辺の拠点地・目的地	A	・新見市地域公共交通計画(P.7～10) ・庄原市地域公共交通計画(P.8～12) ・J R 西日本「普段の外出と公共交通に関するアンケート調査」(2020年)	特定区間内	—	✓ 収集・提供済み
	10	主な観光地への交通機関別利用データ	C	・庄原市地域公共交通計画(P.12) ・「広島県観光客数の動向」 ・「岡山県観光客動態調査」 ・ 特定区間来訪者(観光・ビジネス)へのアンケート調査	特定区間内	既存資料ではデータが不足しているため、アンケート調査を行う	✓ 収集・提供済み ✓ アンケートは1月実施予定
	11	芸備線の区間別平均通過人員	A	・J R 西日本第1回芸備線再構築協議会資料(P.3,4,18,19,20)の元データ 及び最新年度データ	全線	—	✓ 提供済み
	12	観光地・拠点地における消費単価	C	・「広島県観光客数の動向」 ・J R 西日本「庄原ライナー乗客アンケート」 ・ 特定区間来訪者(観光・ビジネス)へのアンケート調査	特定区間内	必要に応じて、他地域の観光関連調査も参照し、消費単価水準推計に活用	✓ 提供済み ✓ アンケートは1月実施予定
	13	芸備線の新たな役割や価値	D	・ 地域団体へのアンケート調査 ・委託先の過去調査実績(他地域事例)	特定区間内	既存資料ではデータが不足しているため、ヒアリング調査を行う	✓ ヒアリングは1月実施予定 ✓ 事例は整理中

注) 収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。

13

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
移動 特性や ニーズ	14	庄原市・新見市の 交通分担率	B	・第1回芸備線再構築協議会幹事会 資料4④(芸備線沿線)(P.2) ・新見市地方公共交通計画(P.32) ・ 特定区間住民へのアンケート調査	特定区間内	既存資料ではデータが 不足しているため、 アンケート調査を行う	✓ 収集・提供済み ✓ アンケートは1月 実施予定
	15	庄原市・新見市の 公共交通利用ODデータ	B	・広島県「モビリティデータ連携基盤」 ・ 特定区間住民へのアンケート調査	全線	庄原市は広島県の データ基盤を活用した 分析も実施	✓ 提供済み ✓ アンケートは1月 実施予定
	16	運転免許証返納者数と その見通し	C	・広島県警・岡山県警保有データ	全線	中国運輸局から 各県警へ市・年齢別 データの開示を依頼	✓ 運輸局対応中
	17	移動実態の把握 (GPS移動データ)	B	・広島県「モビリティデータ連携基盤」 ・J R 西日本保有GPSデータの ローデータ・分析データ	全線	J R 西日本・JRNCと 要件擦合せ済み	✓ 1月中旬までに 提供の予定
	18	公共交通に対するニーズ	B	・既存アンケート調査結果 ・新見市「公共交通利用動向・ニーズ調 査」 ・庄原市「住民・高校・大学生アンケート」 ・ 特定区間住民へのアンケート調査	特定区間内	既存資料ではデータが 不足しているため、 アンケート調査を行う	✓ 提供済み ✓ アンケートは1月 実施予定
	19	商工会など地域経済の 観点からみた 芸備線の価値	D	・ 庄原市・新見市の地域団体・事業者 (商工会議所・商工会・観光協会・ その他地域振興団体等) への ヒアリング調査	特定区間内	既存資料ではデータが 不足しているため、 ヒアリング調査を行う	✓ 1月にかけて 実施予定

注) 収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。

14

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
移動 特性や ニーズ	20	沿線居住者の外出頻度、 目的地	B	・既存アンケート調査等のデータ ・岡山県「パーソントリップ調査」 ・庄原市「住民・高校・大学生アンケート」 ・JR西日本「普段の外出と公共交通に関 するアンケート調査」 ・ 特定区間住民へのアンケート調査	特定区間内	既存資料ではデータが 不足しているため、 アンケート調査を行う	✓ 提供済み ✓ アンケートは1月 実施予定
	21	ローカル線再生事例の 収集による潜在需要	D	・委託先の過去調査実績	—	芸備線の類似地域に おける事例を調査予 定(輸送密度・人口等)	✓ 整理中
	22	高校生の最寄り駅・ 学校までの移動実態	A	・J R 西日本「沿線地域高校生の通学 実態アンケート調査」データ	特定区間	今年度実施結果を 提供	✓ 提供済み
公共 交通の 現状	23	芸備線沿線の交通体系	A	・J R 西日本第1回芸備線再構築 協議会資料(P.11) ・新見市・庄原市 地域公共交通計画	特定区間内 及び 広域バス路線	バスは広域利用も多 いことから特定区間周 辺に限らず広く収集	✓ 収集・提供済み
	24	芸備線列車ダイヤと 列車利用者数	A	・芸備線時刻表データ ・J R 西日本保有データ(最新年度まで) ・新見市・庄原市 地域公共交通計画	全線	—	✓ 収集・提供済み
	25	芸備線沿線の芸備線以外 の公共交通機関等 利用状況	A	・庄原市地域公共交通計画(P.15～29) ・新見市地域公共交通計画(P.18～29)	特定区間内	バスは広域利用も多 いことから特定区間周 辺に限らず広く収集	✓ 収集済み
	26	芸備線駅勢圏の人口	A	・J R 西日本保有データ (1 km～5 km圏内)	特定区間内	—	✓ 提供済み

注) 収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。

15

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
公共交通の現状	27	沿線バス停とカバー人口率	B	・庄原市 第1回幹事会資料のデータ (P.22,36,38,41,44,47,50,53) ・国交省「バス停留所データ」 ・日経ビジュアルデータ「地図で見るバス停アクセス困難者」	特定区間内	庄原市は既存資料を参照。新見市については左記データを用いて追加収集予定	✓ 収集・提供済み
	28	二次交通の接続環境	B	・芸備線及び沿線の二次交通における時刻表データ ・新見市・庄原市 地域公共交通計画	特定区間内	—	✓ 収集済み
	29	P&R整備状況	D	・JR西日本に対するヒアリング調査	特定区間内	—	✓ 1月実施予定
	30	芸備線沿線の道路渋滞状況	C	・国交省中国地方整備局「中国地方の主要渋滞箇所」	全線	—	✓ 収集済み
	31	芸備線の利用状況、収支状況	A	・JR西日本第1回幹事会資料「芸備線区間別の費用構造」データ	全線	—	✓ JR西日本対応中
	32	芸備線沿線のバス・タクシー等の収支状況	C	・国土交通省保有事業者データ	特定区間内	中国運輸局からデータ提供	✓ 提供済み（継続議論中）
	33	芸備線沿線のバス・タクシー乗務員不足の状況	D	・庄原市・新見市近郊に事業所を有するバス・タクシー事業者へのヒアリング調査	特定区間内	—	✓ 1月にかけて実施予定

注）収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。

16

分類	#	データ名	p.10分類	収集方法・出所	収集範囲	補足説明	収集・提供状況
公共交通の現状	34	JR西日本単年度収支・経営状況（コロナ禍以降）	A	・JR西日本 IR 資料等	—	決算説明資料を参照	✓ 収集済み
	35	芸備線の災害リスク等の将来負担	A	・提供可能なデータについて、JR西日本と調整中	—	—	✓ データ提供可否をJR西日本と調整中
	36	バス・タクシー等と鉄道の連携状況	C	・第6回「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」岡山県発表資料（P.9～11）広島県発表資料（P.7,8,24） ・新見市・庄原市 地域公共交通計画 ・芸備線及び沿線の二次交通における時刻表データ	特定区間内	新見市は既存資料を参照。庄原市については左記データを用いて追加収集予定	✓ 収集済み

注）収集範囲・地域について、「全線」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を、「特定区間内」は庄原市・新見市を対象としている。

17

■ 調査事業の全体像
■ 各実施項目の進捗状況と今後の進め方
1. 必要なデータの収集
2. 関係者からの意見聴取の実施
● 沿線住民・来訪者アンケート調査
● 地域団体・事業者へのヒアリング調査

沿線住民アンケート調査の概要

沿線住民アンケートは、庄原市・新見市住民を対象として、郵送で1月中を目途に配布予定。芸備線の利用状況などの項目について詳細に聴取を行う想定

沿線住民アンケート概要

配布範囲	配布方法	配布対象	実施の流れ	聴取項目
新見市	郵送	芸備線特定区間（備中神代～備後庄原） 沿線にお住まいの世帯のうち、約3,000世帯を抽出	> アンケート設問の確定 ↓ > 調査票等事前準備 （住民への事前周知等） ↓ > アンケートの配布 ↓ > アンケートの回収 ↓ > アンケート結果の集計	- 属性 - 年代、職業、自動車免許保有有無、最寄りの芸備線駅 等 - 過去1年間の日常の外出について - 移動目的、外出頻度、交通手段 等 - 芸備線の利用状況について - 外出目的別の利用頻度等
庄原市				

来訪者アンケート調査の概要

来訪者アンケートは、庄原市・新見市を訪れた人を対象にWeb形式で1月中旬に開始予定
本調査では訪問内容、滞在中の消費額などの項目について詳細に聴取を行う想定

来訪者アンケート概要

実施対象	配布範囲・方法	実施の流れ	聴取項目
➤ 広島県、岡山県、首都圏、中京圏、関西圏居住者30,000人に対してスクリーニング調査 ➤ 過去1年に庄原市・新見市への訪問経験がある人600人程度に本調査を配信 ・来訪者は観光目的、ビジネス目的の両方を含む ・回収数は当該経験者の出現率によって前後する	➤ WEB形式で広範囲のモニターに調査を配信	➤ アンケート設問の確定 ↓ ➤ アンケートの配布 ↓ ➤ アンケートの回収 ↓ ➤ アンケート結果の集計	【スクリーニング調査】 ・ 属性 ・ 新見市・庄原市への訪問経験 ・ （訪問経験がある場合）2市のどの地域を訪れたか 【本調査】 ・ 2市への訪問内容 滞在日数、交通手段等 ・ 滞在期間中の消費額 ・ （芸備線利用者に対して）駅区間、芸備線の利点／欠点等 ・ （芸備線非利用者に対して）芸備線選択に向けた条件

20

■ 調査事業の全体像

■ 各実施項目の進捗状況と今後の進め方

1. 必要なデータの収集

2. 関係者からの意見聴取の実施

- 沿線住民・来訪者アンケート調査
- 地域団体・事業者へのヒアリング調査

21

①⑨ 地域経済の観点からみた芸備線の価値、②⑨ P&Rの整備状況、③③ 芸備線沿線のバス・タクシー乗組員不足状況について、各項目に密接に関わる団体・事業者へのヒアリングを実施

データ項目	ヒアリング対象	実施方法	実施時期
①⑨ 商工会など地域経済の観点からみた芸備線の価値	✓ 特定区間自治体の各市商工会議所・観光協会・商工会ほか、地域振興に密接に関わっている団体又はその主催者 など	対象の属性や聴取項目に応じて、複数の形式を組み合わせ実施予定 ✓ 単独ヒアリング ✓ グループインタビュー など	1月後半
②⑨ P&Rの整備状況	✓ 特定区間駅周辺におけるP&Rの整備団体又はその運営担当者 a. J R 西日本 広島・岡山支社 担当者	単独ヒアリング	1月後半
③③ 芸備線沿線のバス・タクシー乗組員不足の状況	✓ 庄原市・新見市に事業所を有するバス・タクシー事業者/運営主体	対象の属性や聴取項目に応じて、複数の形式を組み合わせ実施予定 ✓ 単独ヒアリング ✓ グループインタビュー など	1月後半

注) 地域振興団体、バス・タクシー事業者については、2市が適切と想定されるヒアリング対象を選定

地域の団体・事業者より、地域経済/振興や市民生活、公共交通をはじめとした市民の移動についての現状と展望を聴取する

データ項目	ヒアリング対象	ヒアリングの観点
①⑨ 商工会など地域経済の観点からみた芸備線の価値	特定区間自治体の 各市商工会議所・観光協会・商工会ほか、 地域振興に密接に関わっている 団体又はその主催者 など	✓ 地域の経済活動・まちづくり・観光産業の現状（地域としての課題や機会） ✓ 地域住民や観光客に対する芸備線の効果・影響 ✓ 地域経済・市民生活に対する市民の価値観・想い ✓ 芸備線の利便性向上や地域経済活性化のための施策案
②⑨ P&Rの整備状況	特定区間駅周辺における P&Rの整備団体又はその運営担当者	✓ 特定区間におけるP&Rの整備状況・将来的な見通し ✓ 特定区間におけるP&Rの活用可能性 ✓ 駅周辺のP&Rの利用実態 ✓ P&R含めた駅周辺区域の活用可能性
③③ 芸備線沿線のバス・タクシー乗組員不足の状況	庄原市・新見市に事業所を有する バス・タクシー事業者/運営主体	✓ 乗務員の就業実態と展望 ✓ 営業上の課題とそれに対する施策 ✓ 他の公共交通との同異点、バス・タクシーの特性など

令和7年度芸備線再構築協議会 予算及び構成員負担金

令和6年12月25日
国土交通省 中国運輸局



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年度芸備線再構築協議会費用の各構成員の負担割合

- 協議会・幹事会の会場費等の「運営費」や調査事業等実施の費用である「事業費」については、芸備線再構築協議会財務規程第2条第1項に基づき、地域公共交通再構築調査事業補助金を活用して、国が1/2を補助し、残りの1/2について、**西日本旅客鉄道株式会社が1/4を、特定区間の自治体が合わせて1/4を負担することを「基本的な負担割合」とする**ことが第2回幹事会において了承された
- 令和7年度における芸備線再構築協議会で必要となる費用は、引き続き、基本的な負担割合に基づいて各構成員の負担額を決定していくこととする。ただし、調査事業や実証事業の実施に当たっては、その事業内容に応じて、事務的に協議した上で、按分により負担額を決定する

○芸備線再構築協議会の基本的な費用負担割合

構 成 員	負 担 割 合
国	1 / 2
J R 西日本	1 / 4
特定区間の自治体	1 / 4

※¹ 自治体負担分は、関係する自治体が負担する

※² 詳細な負担金の額は、事務的に調整を行う

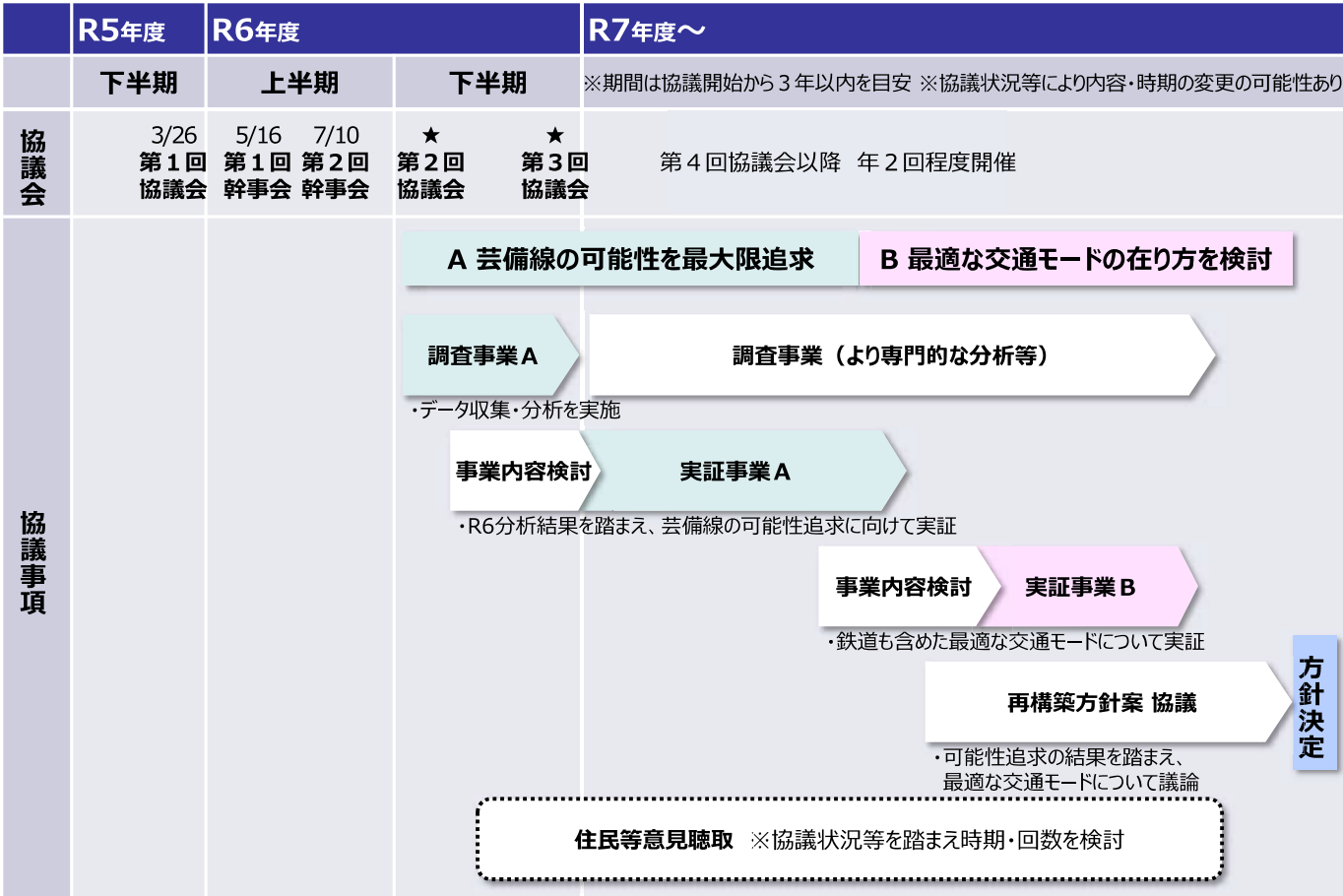
※³ 地域公共交通再構築調査事業費補助金の上限は、調査事業1,000万円/実証事業5,000万円

令和7年度芸備線再構築協議会予算(案)

	款	項	目	予算額 (円)	内容
歳入	1 国庫支出金	1 国庫補助金	1 国庫補助金	1,250,000	地域公共交通再構築調査事業費補助金
	2 負担金	1 各構成員負担金	1 西日本旅客鉄道負担金	625,000	
			2 岡山県負担金	625,000	
			3 広島県負担金		
			4 新見市負担金		
			5 庄原市負担金		
			6 その他構成員負担金	0	
	3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	
歳出	4 雑収入	1 雑入	1 雑入	0	
	歳入合計			2,500,000	
	款	項	目	予算額 (円)	内容
歳出	1 運営費	1 会議費	1 会議費	2,350,000	協議会・幹事会会場費
		2 事務費	2 事務費	150,000	謝金、委員等旅費、その他事務費
	2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
	3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	
	歳出合計			2,500,000	

2

(参考)芸備線再構築協議会 スケジュール想定(第2回協議会)



3

最新データの共有

- ・区間別の費用構造(2023年度データの追加)
- ・列車別のご利用状況(2024年度乗込調査結果)

2024年12月25日



区間別の費用構造

2

■ 備中神代～備後庄原（68.5km）

(単位：億円)

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	平均
平均通過人員（輸送密度）	57	43	48	47	50	58	62	—
収支率	2.1%	1.6%	1.5%	1.7%	2.0%	2.7%	2.9%	2.0%
営業収益（運輸収入）	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
営業費用	7.5	6.4	8.0	6.4	6.2	5.8	6.0	6.6
線路保存費	3.9	2.7	4.0	2.3	2.6	2.1	2.4	2.9
電路保存費	1.1	1.1	1.3	1.3	1.0	0.9	0.8	1.1
車両保存費	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
運転費	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9
運輸費	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
固定資産税	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
減価償却費	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
営業損益（管理費除く）	▲ 7.4	▲ 6.3	▲ 7.9	▲ 6.3	▲ 6.1	▲ 5.6	▲ 5.8	▲ 6.5
間接経費	0.6	1.4	0.6	0.5	0.4	0.2	0.3	0.6
保守管理費	0.3	0.3	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
輸送管理費	0.2	1.1	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3
営業費用（管理費含む）	8.1	7.8	8.7	6.9	6.7	6.0	6.3	7.2
営業損益（管理費含む）	▲ 7.9	▲ 7.7	▲ 8.6	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 5.8	▲ 6.1	▲ 7.1
列車運行経費	1.2	2.2	1.4	1.3	1.2	1.1	1.2	1.4
鉄道施設経費（施設・電気・車両）	6.9	5.6	7.3	5.6	5.5	4.9	5.1	5.8

※区間別及び項目別の数値については、一定の前提を置いて按分し算出しています。
※間接経費（保守管理費・輸送管理費）には、本社に関する費用は含んでいません。
※四捨五入の関係で、表上の個別の数値の計算結果と一致しない場合があります。

区間別の費用構造

3

■備中神代～東城（18.8km）

（単位：億円）

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	平均
平均通過人員（輸送密度）	86	73	81	80	80	89	88	—
収支率	2.5%	2.5%	2.2%	2.7%	2.9%	3.8%	3.9%	2.9%
営業収益（運輸収入）	0.1	0.04	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1
営業費用	2.4	1.7	2.2	1.6	1.8	1.7	1.6	1.9
線路保存費	1.3	0.7	1.2	0.6	0.8	0.6	0.7	0.8
電路保存費	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3
車両保存費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
運転費	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
運輸費	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
固定資産税	0.1	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
減価償却費	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
営業損益（管理費除く）	▲2.3	▲1.6	▲2.2	▲1.6	▲1.7	▲1.6	▲1.6	▲1.8
間接経費	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.11	0.1
保守管理費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.03	0.04	0.1
輸送管理費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.04	0.07	0.1
営業費用（管理費含む）	2.5	1.8	2.4	1.8	1.9	1.7	1.8	2.0
営業損益（管理費含む）	▲2.5	▲1.8	▲2.4	▲1.8	▲1.9	▲1.7	▲1.7	▲1.9
列車運行経費	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4
鉄道施設経費（施設・電気・車両）	2.2	1.5	2.0	1.4	1.6	1.4	1.4	1.6

※区間別及び項目別の数値については、一定の前提を置いて按分し算出しています。
 ※間接経費（保守管理費・輸送管理費）には、本社に関する費用は含んでいません。
 ※四捨五入の関係で、表上の個別の数値の計算結果と一致しない場合があります。

区間別の費用構造

4

■東城～備後落合（25.8km）

（単位：億円）

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	平均
平均通過人員（輸送密度）	13	9	11	9	13	20	20	—
収支率	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%	1.0%	1.0%	0.6%
営業収益（運輸収入）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01
営業費用	3.0	2.0	2.7	1.9	2.2	2.0	2.0	2.3
線路保存費	1.8	1.0	1.6	0.8	1.1	0.8	1.0	1.2
電路保存費	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
車両保存費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
運転費	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
運輸費	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
固定資産税	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
減価償却費	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
営業損益（管理費除く）	▲2.9	▲2.0	▲2.7	▲1.9	▲2.2	▲2.0	▲1.9	▲2.2
間接経費	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
保守管理費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
輸送管理費	0.05	0.04	0.1	0.1	0.04	0.03	0.1	0.05
営業費用（管理費含む）	3.2	2.2	2.9	2.1	2.3	2.1	2.1	2.4
営業損益（管理費含む）	▲3.1	▲2.2	▲2.9	▲2.1	▲2.3	▲2.0	▲2.0	▲2.4
列車運行経費	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
鉄道施設経費（施設・電気・車両）	2.9	1.9	2.7	1.8	2.1	1.8	1.8	2.1

※区間別及び項目別の数値については、一定の前提を置いて按分し算出しています。
 ※間接経費（保守管理費・輸送管理費）には、本社に関する費用は含んでいません。
 ※四捨五入の関係で、表上の個別の数値の計算結果と一致しない場合があります。

■ 備後落合～備後庄原（23.9km）

（単位：億円）

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	平均
平均通過人員（輸送密度）	82	57	62	63	66	75	86	—
収支率	3.8%	1.9%	1.9%	1.9%	2.7%	3.5%	3.8%	2.7%
営業収益（運輸収入）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
営業費用	2.2	2.7	3.1	2.8	2.2	2.1	2.4	2.5
線路保存費	0.8	0.9	1.2	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9
電路保存費	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.2	0.4	0.4
車両保存費	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
運転費	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4
運輸費	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
固定資産税	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
減価償却費	0.3	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.5
営業損益（管理費除く）	▲2.1	▲2.6	▲3.0	▲2.7	▲2.2	▲2.0	▲2.3	▲2.4
間接経費	0.2	1.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3
保守管理費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.03	0.04	0.1
輸送管理費	0.1	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
営業費用（管理費含む）	2.4	3.8	3.3	3.0	2.4	2.2	2.5	2.8
営業損益（管理費含む）	▲2.3	▲3.7	▲3.3	▲2.9	▲2.4	▲2.1	▲2.4	▲2.7
列車運行経費	0.6	1.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7
鉄道施設経費（施設・電気・車両）	1.8	2.2	2.6	2.4	1.8	1.7	1.9	2.1

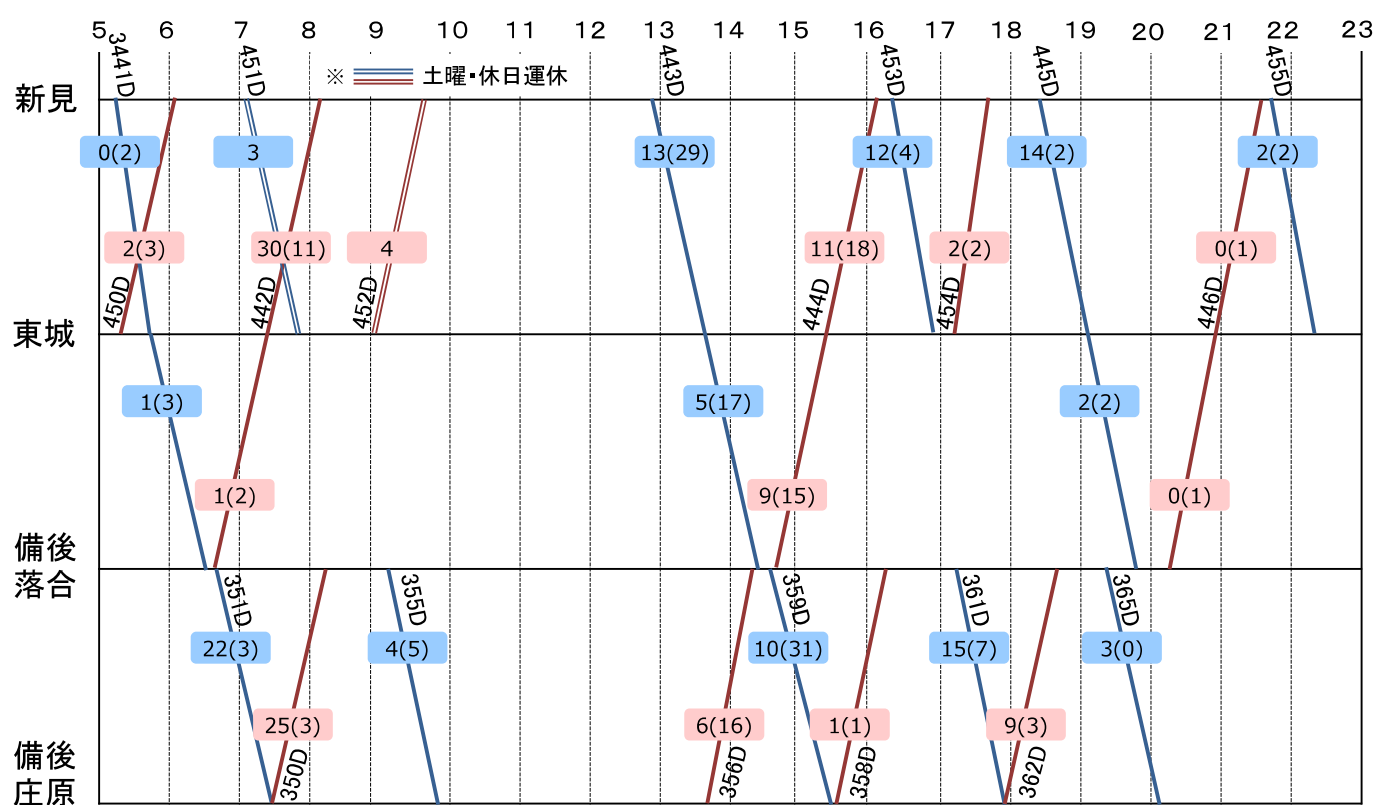
※区間別及び項目別の数値については、一定の前提を置いて按分し算出しています。
※間接経費（保守管理費・輸送管理費）には、本社に関する費用は含んでいません。
※四捨五入の関係で、表上の個別の数値の計算結果と一致しない場合があります。

列車別のご利用状況

列車ごとの利用者数は、乗り込み調査によると0～31人であった。

○ 列車ダイヤ（2024.3改正）と列車別利用者数

- ・ 調査 日：2024年10月30日(水)、31日(木)、11月1日(金)、9日(土)、10日(日)
- ・ 調査 方法：当社による乗り込み調査 ・ 列車別利用者数：平日平均（休日平均）



列車ごとの利用者数は、乗り込み調査によると0～45人であった。

○列車ダイヤ（2023.3改正）と列車別利用者数

- ・調査日：2018年4月14日(土)、16日(月)、18日(水)、20日(金)、22日(日)
- ・調査方法：当社による乗り込み調査
- ・列車別利用者数：平日平均（休日平均）

